

【社会科・中2 歴史的分野・「欧米の進出と日本の開国」】①

育成を目指す資質・能力

〈本時の目標〉

幕末の時代背景と現代の社会の様子をもとに「日本は開国すべきだったかどうか」について考え、意見交流を通して、自分の考えを再構築したり、自分の考えを深めたりする。

ICT活用のポイント

課題に対して調べたり、自分の意見をまとめたりする場面において、学習支援ソフトを用いて生徒の意見を可視化したり、共有したりすることで、思考を深められるようにする。

前時までを振り返り、
本時の課題をつかむ。

幕末から明治時代初期にかけての世界情勢
や国内の様子を踏まえ、開国した幕府の判
断について日本の立場から考え、自分の考
えをまとめる。

意見を共有し、全体で
意見交換を行う。

全体の意見交流を踏まえ、開国した幕府の
判断について最終意見をまとめる。

事例の概要

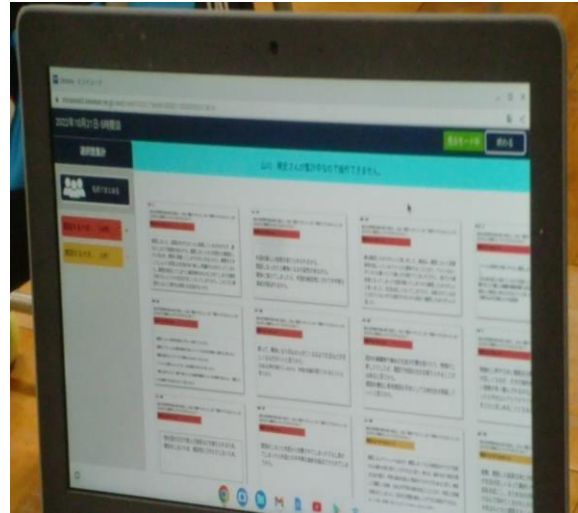
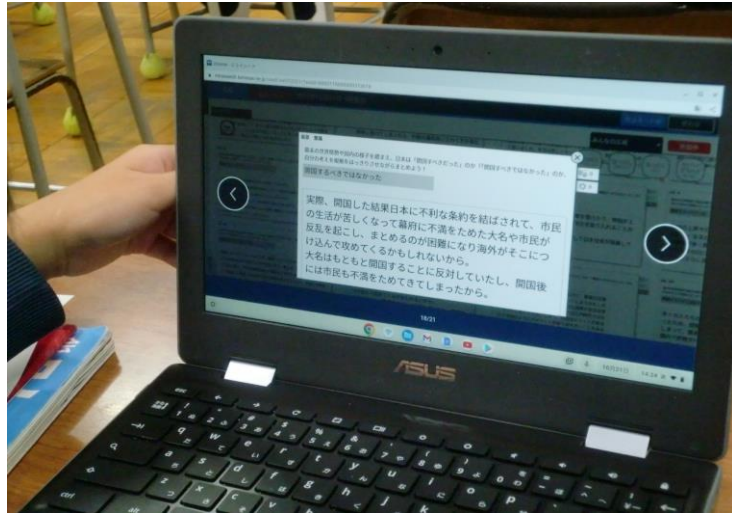
- 前時までにまとめた自分の意見や幕末の時代背景をもとに、本時の課題をつかむ。
課題：日本は開国すべきだったのか、するべきではなかったのか考えよう

【事例におけるICT活用の中心場面】

- 前時までの学習内容と明治初期の国内の様子を踏まえ、資料から根拠を明確にし
ながら、開国の是非について**学習支援ソフトの共有機能**を活用し、意見をまとめる。
- 学習支援ソフトの集計機能**を活用し、生徒の意見の中で多く使われている語句を
学級全体で共有することで、開国の是非について判断材料になったキーワードを確
認する。
- 意見交流の結果や友達の見解を参考に、自分の最終意見をまとめる。

【中学校・2年・社会科・歴史的分野「欧米の進出と日本の開国」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



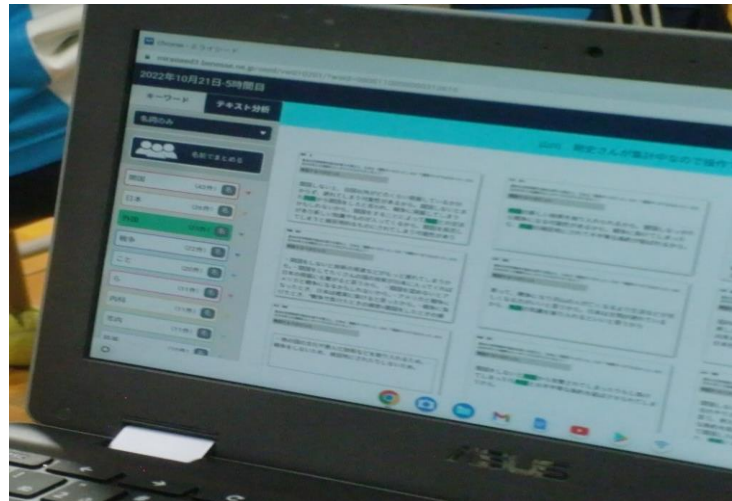
開国した幕府の判断について、自分の意見をまとめる場面で、学習支援ソフトの共有機能を活用し、生徒は、学級全員の意見を見ることができたので、友達の意見を手がかりに、自分の意見をまとめることができた。

教師は、生徒が取り組んでいる状況を把握することができ、適切な支援ができた。

【活用したソフト・機能】

・学習支援ソフト(共有機能)

【事例におけるICT活用の場面②】



生徒

意見を共有し、全体で意見交流を行う場面で、学習支援ソフトの集計機能を活用し、教師は、生徒が多く使った語句を確認することができた。教師がその語句を視点にした意見交流の場を設定したことで、生徒は、学級全体でその語句を使った理由を考えたり、自らの考えを見直したりしながら、考えを深めることができた。

【活用したソフト・機能】

・学習支援ソフト(集計機能)